



No.16

発行責任者
栃木市大平町富田898-4
日立GLS労組栃木支部内
電話 0282-43-3039
小太刀 孝之
編集者 池田 祐生

2026年4月19日投開票日

栃木市議会議員選挙結果

定数/候補者数 28/29

投票率 46.21%

こだち孝之

二期目当選

第7位 2,406票



当選御礼と今後の取組み

4月19日に執行されました、栃木市議会議員選挙に於きまして、大変厳しい選挙戦となりましたが、2,406票を頂き、全体第7位の立派な成績で二期目の当選を果たすことができました。後援会活動並びに選挙活動に携われた全ての皆さまに心よりの御礼と感謝を改めて申し上げます。これも一重に、栃木事業所構内に勤務する多くの組合員・従業員の皆さまを始め、会社OBの皆さま、取引先の皆さま、そして電機連合栃木地協の仲間の皆さま、連合栃木下都賀地協の皆さまの力強いご支援、ご協力の賜物であります。

二期目につきましても引き続き、「安心・安全な栃木市へ 未来を元気にするまちづくり」を基本政策に掲げ、働く者の代表として組合員・従業員と地域の声を届ける身近な市議会議員として活動を継続して参ります。また、未来に向けたまちづくりの政策として掲げさせて頂きました「産業と観光の振興を推進することによる栃木市の魅力度向上、福祉の充実と子育てに優しく、環境に配慮した次世代型のまちづくり」を実現できるよう、微力ではありますが取り組んでいくと共に、今後も皆さまからのご付託にこたえられるよう活動して参ります。皆さまからの引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げ、当選の御礼とさせていただきます。

二期目の議会での役割

総務常任委員会	委員 所管（総合政策部、地域振興部、消防本部他）
議会運営委員会	副委員長
議会改革検討委員会	副委員長
議員報酬・定数検討委員会	副委員長

一般質問報告

改選後初めての議会である令和 8 年度 6 月定例議会にて、6 月 15 日に一般質問に登壇させて頂きました。今回の一般質問では、本市の防災減災について、本市の観光振興について二点の質問を行いました。市民の防災意識に対する市の対応について、質問の詳細を掲載させて頂きます。

(議会だより第 71 号にも掲載がされますので、そちらもご覧ください)

※6月議会では、8名の新人議員を含め、20名の議員が一般質問に登壇しました。



◆本市の防災減災について

- (1) 栃木市地域防災計画の
見直しについて
- (2) 減災対策について
- (3) 市民の防災意識に対する
対応について
- (4) 火災予防について

◆本市の観光振興について

- (1) 第2次栃木市観光基本計画の
進捗について
- (2) 計画期間の指標の推移について
- (3) 観光資源の魅力度向上施策
について
- (4) ふれあいバスの観光への利活用
について
- (5) 観光・交流施設整備後の新たな
観光施策について

【質問】

総合計画の策定や今後の市政運営等の基礎資料とするため、将来の市のあり方やこれまで進めてきた施策等への満足度など、まちづくりに関する市民の意向調査を、直近では令和 3 年 8 月に実施している。防災危機管理対策について、現状の取り組みにやや不満又は不満とする市民が 6 割近くを占める一方、今後、重要又はやや重要とする市民は 9 割を超え、現状の満足度と今後の期待におおきな隔たりがある。この状況を市としてどう捉え、取り組みを実施してきたのか。また、取り組みを通しての課題、それらを踏まえた、今後の取り組みについて伺う。

【答弁】

本市は二度の水害をうけ、令和 2 年度から全市的に抜本的な治水対策に取り組み開始した。一方、令和 3 年 8 月に行った市民調査でも、防災・危機管理対策についても「重要」が 9 割を超えるなど、市民の皆さまの強い関心があったことから、第 2 次栃木市総合計画では「誰もが安全で安心して暮らせる栃木市」を基本方針のひとつに位置づけ、現在「治水対策の推進」として、県の河川改修と併せ浸水被害軽減のための調節地や放水路の整備、公共下水道雨水渠整備、田んぼダムの整備を進めている。また、「防災・危機管理の強化」として、自主防災組織の育成や地区防災計画の策定支援を行い、ハード・ソフト両面から防災関連施策に取り組んでいる。課題は、気候変動による災害の激甚化、台風の強大化等への対応が挙げられることから、引き続き治水対策を行うと共に、市民の防災意識向上と地域の防災力向上に努めていく。

編集後書

この度の栃木市議会議員の投票率は、46.21%であり過去最低となってしまいました。また、得票数 28 番目の立候補者が法定得票数に達しなかったため、当選人とならず今後の 4 年間は 27 名（定数 28）の議員で議会活動が行われていきます。20代から 30代の投票率が低く、若年層の政治離れが深刻化しています。議会として、投票率向上には何が必要なのか、しっかりと議論を重ね、この問題に取り組んで参ります。

こだち孝之

※一般質問の詳細は
こちらからアクセス

